



ジャイカ

JICA研修員一関遊水地を視察 

一関一高生徒との交流



あいぽーと見学



一関集中管理センター見学



大林水門見学

7月3日(水)、国際協力機構(JICA)関西センターの研修員14名が治水対策学習のため、北上川学習交流館「あいぽーと」に来所しました。

当日は岩手河川国道事務所職員による解説を聞きながら、水門などの河川施設の役割や防災について学びました。

またこの日は、一関第一高等学校の生徒8名もJICA研修員との交流のため来所し、一緒に治水対策を学習した後、JICA研修員と質疑応答や意見交換を行いました。

夏休み前安全利用点検を実施しました 

7月4日(木)、一関出張所では河川敷利用が増える夏休み時期に向けて、各施設の安全利用点検を行いました。一関水辺プラザを始めとした6ヶ所を点検しましたが、どの施設も目立った異常はありませんでした。施設を利用するさいは安全に充分留意されたうえお楽しみください。



磐井川緑地公園



川崎地区水辺プラザ



平泉地区水辺プラザ

安全に利用するには

- ・水辺には近づかない。特に増水しているときは、より危険になるため絶対に近づかないこと。
- ・子どもだけで河川に行かない。大人は子どもが水辺に寄らないよう目を離さないこと。
- ・施設の損壊を見つけたら、管理者へ連絡を。



※バックナンバーはこちら

https://www.thr.mlit.go.jp/iwate/syuttyoujyo/itinoseki/2024/2024_ichinoseki.htm

編集後記

JICA研修員の皆様、一関一高の皆様、ご来所いただきありがとうございました。活発な意見交換が行われ、中南米と日本の防災意識の違いや各国特有の気候事情など、お互いに満足のいく充実した時間となったようでした。見て・聞いて・話して学ぶことのできるあいぽーと、ご来館をお待ちしております。(い)